

市政を問う

一般質問

※問と答の内容は、各議員本人が要約したものです。
※問の下の氏名は発言議員名です。

市民生活

産業祭などで地デジ相談会を

問 堀口 地上デジタルテレビ放送への移行まで約一年。市民はなるべく費用をかけずに、今までどおりテレビを見続けられる事を望んでいる。必要とする情報を得る機会として、産業祭等で相談会を開催できないか。
答 地デジの相談会の開催を業者に呼びかけていきます。



出張所の共同利用は

問 田村 合併後の地域連携事業をどう考えるか。
答 効率的な行財政運営に有効であると認識しています。
問 ふじみ野駅の富士見出張所の共同利用はできないか。
答 狭さから実現は厳しいですが今後検討していきます。

ふじみ野音頭の公募を

問 小峰 合併五年の節目である。市民の融和から絆へと進めるため公募する考えは。
答 市民の絆を更に強くするために必要と考えています。行政課題が多い中、今後前向きに検討していきたい。

路上喫煙の禁止

問 野沢 路上喫煙は子供たちに危険であり火災の原因

やゴミともなる。路上喫煙禁止区域を設けてはどうか。
答 上福岡駅周辺に平成二十四年度に路上喫煙禁止区域を設ける予定です。

庁舎間にテレビ電話を

問 堀口 市民が総合支所から本庁へ回されるという事が、改善されていない。テレビ電話の活用はできないか。
答 インターネットによるテレビ電話の活用を試行し検討していきます。

住宅リフォーム助成検討も

問 足立 商工会の資料によると住宅リフォーム助成制度は多大な経済波及効果をもたらす。市でも独自実施を。
答 検討の余地はあると思いますが、現段階では困難です。

人権侵害の請願署名に適正な対応を

問 山口 自民クラブ、公明党が提出した「議員を一九

名に削減する議案」と同じ内容の署名が、町会・自治会連合会長名で、会員の人権を侵害して強要されたことは看過できない。法や会則・細則にも反している。市では誰がどのように対応し、それが適切

だったのか。

答 会則・細則の規定を逸脱しているとの指摘ですが、第一義的に連合会内部で判断すべき問題です。また、市は事前に請願活動の実施の相談は受けていません。

都市政策

排水ポンプや雨水ますの設置を

問 岩崎 元福岡地区の浸水対策の進捗はどうか。
答 元福岡集会所のそばのマンホールに、直径二〇センチのポンプを設置。今後、元福岡の低い所には雨水ますを設置したい。

市内雨水対策

問 大築 元福岡地区と上福岡二丁目地区の雨水対策と計画の進捗は。
答 元福岡は二丁目に排水ポ

江川緑道の安全対策は

問 小峰 江川緑道の側道、湿気橋付近の安全対策は。
答 砂利等を入れ段差を解消します。湿気橋付近は安全標示看板を設置します。

交通安全対策

問 大築 狭あい道路に待避所の設置と路面標識の擦り

切れ対策は。

答 用地の確保に難しい点もありますが、売買物件が出れば検討します。路面標識は公安委員会にその都度要望していきます。

駒西小学校と第三児童館の防犯と交通安全

問 山口 江川緑道と東上線が交差するガード周辺と第三児童館の前の県道の安全対策を早急に講じるように。
答 ガード周辺は路面標識を描き直し、注意看板を設置。県道の交差点は、歩道が整備されるまで、隅切り部分の路肩にポストコーンを設置し利用者の安全確保を図ります。

上福岡駅西口階段先に横断歩道設置を

問 鈴木 歩行者が団地と駅前広場の間に張られている鎖をまたいで行き来する光景は危険で異様である。歩行者優先の立場で安全対策を講じ横断歩道を設置すべき。
答 道路のカーブ箇所等を理由に設置について警察の了解が得られていません。引き続き対策を検討していきます。

上ノ原交差点信号機設置要請

問 足立 上野台保育所前の新設道路の交通安全対策と、上ノ原交差点の信号機設置は。
答 路面表示など可能な対応を実施。信号機はいち早く設置してもらうように東入間警察署を通して要請しています。

子育て・教育

学校開放等の目的は

問 小峰 学校開放等の目的に沿った利用が一部されていないが、今後の対応は。
答 目的に沿った利用ができるよう住民の方に説明し、理解を求める努力をします。

学校プールの一般開放を

問 小川 学校プールを一般開放している自治体もあります。市民プールがないふじみ野市であるからこそ、開放してはどうか。
答 安全を考慮し、今後の課題としたいと思います。

県立福岡高校について

問 野沢 昭和四十四年に強い住民要望により誕生した福岡高校が三年後に閉校になることは大変残念。閉校後の土地・施設について市の考えは。
答 県の所有であり、現状での検討はしておりません。

学校給食コンクールの参加は

問 田村 市の学校給食はおいしいと評判。食べ残しの量は。また、学校給食コンクールへの参加は。

答 食べ残しは減っています。学校給食コンクールは今年度初めて参加しています。

発達障がいへの学習支援にマルチメディアエイジの活用を

問 伊藤 文部科学省の調査研究で、児童生徒にこの教科書を活用し学習理解が向上したとの効果が現れている。当市でも進めるべきでは。
答 学習支援に大変有効な手立てと考えています。ニーズに合わせた支援を研究します。

放課後の子どもの居場所確保は

問 五十嵐 上福岡地域の児童館を児童保育室にするこことによる児童の居場所の確保は。
答 児童保育室を利用できない児童については、児童センターや公民館の利用促進と共に「放課後子ども教室」を活用して居場所の確保を図りたい。またセンターの分室の設置の検討と大井地域に

障がい児の教育条件整備

問 新井 中学校に通級指導教室の開設を。特別支援学級にシャワーなどの整備を。
答 通級指導教室は、二十一年度は東台小に、二十二年度



※マルチメディアエイジとは？ 発達障がいや文字を認識するのが困難な児童生徒への学習支援に、パソコンで音声を聞きながら、同時に文字・絵・写真を見ることができる教科書。